【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成20年2月21日(2008.2.21)

【公表番号】特表2003-523479(P2003-523479A)
【公表日】平成15年8月5日(2003.8.5)
【出願番号】特願2001-561123(P2001-561123)
【国際特許分類】
*Ｃ１１Ｄ　3/37　(2006.01)*
*Ｃ１１Ｄ　1/12　(2006.01)*
*Ｃ１１Ｄ　1/72　(2006.01)*
*Ｃ１１Ｄ　3/43　(2006.01)*
*Ｄ０６Ｍ　13/02　(2006.01)*
*Ｄ０６Ｍ　13/144　(2006.01)*
*Ｄ０６Ｍ　13/256　(2006.01)*
*Ｄ０６Ｍ　15/263　(2006.01)*
*Ｄ０６Ｍ　15/27　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｃ１１Ｄ　3/37
Ｃ１１Ｄ　1/12
Ｃ１１Ｄ　1/72
Ｃ１１Ｄ　3/43
Ｄ０６Ｍ　13/02
Ｄ０６Ｍ　13/144
Ｄ０６Ｍ　13/256
Ｄ０６Ｍ　15/263
Ｄ０６Ｍ　15/27

【手続補正書】
【提出日】平成19年12月27日(2007.12.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　（ａ）約５０ｗｔ％～約９８ｗｔ％の水、
（ｂ）約０．０５ｗｔ％～約２ｗｔ％の少なくとも１種の酸性コポリマー乳化剤、
（ｃ）約１ｗｔ％～約５０ｗｔ％の少なくとも１種の溶媒、及び
（ｄ）０～約１ｗｔ％の少なくとも１種の界面活性剤、
を含有し、ｐＨが約４～約１０に調節されている、カーペット清浄化組成物。
【請求項２】　前記酸性コポリマー乳化剤の酸価が約１０～約４５０である、請求項１に記載の組成物。
【請求項３】　前記酸性コポリマー乳化剤が、アクリル酸、メタクリル酸、エタクリン酸、α－クロロアクリル酸、α－シアノアクリル酸、マレイン酸、イタコン酸、フマル酸、これらの酸の無水物、これらの酸の塩、及びこれらの混合物からなる群より選択される少なくとも１種のモノマーから調製される、請求項１に記載の組成物。
【請求項４】　前記酸性コポリマー乳化剤が、$C_{10}$～$C_{30}$のアルキルアクリレートとオレフィン状不飽和カルボン酸モノマーとのコポリマーである、請求項１に記載の組成物。

【請求項５】　前記少なくとも１種の界面活性剤が、アニオン性、非イオン性、両性及び双性界面活性剤、並びにそれらの混合物からなる群より選択される、請求項１に記載の組成物。

【請求項６】　前記少なくとも１種の界面活性剤が、アルコールアルコキシレート、ジアルキルスルホスクシネート及びそれらの混合物からなる群より選択される、請求項５に記載の組成物。

【請求項７】　アルカリ土類金属の水酸化物を使用してｐＨが調節されている、請求項１に記載の組成物。

【請求項８】　アルカリ土類金属の炭酸塩を使用してｐＨが調節されている、請求項１に記載の組成物。

【請求項９】　共溶媒、染料、香料、抗菌剤、漂白剤、洗浄剤、防腐剤、粘性制御剤、緩衝剤、静電気防止剤、柔軟剤、防虫剤、虫除け剤、酵素、汚れ懸濁剤、増粘剤、及びこれらの混合物からなる群より選択される化合物を更に含有する、請求項１に記載の組成物。

【請求項１０】　前記溶媒が、テルペンに基づく炭化水素、水に不溶性のエステル、イソパラフィン炭化水素、ナフテン炭化水素、水に不溶性のアルコール、水に不溶性のケトン、水に不溶性のエーテル、アルキル化シロキサン、及びそれらの混合物からなる群より選択される、請求項１に記載の組成物。

【請求項１１】　（ａ）約５０ｗｔ％～約９８ｗｔ％の水、
（ｂ）約０．０５ｗｔ％～約２ｗｔ％の少なくとも１種のアクリル酸コポリマー乳化剤、
（ｃ）約１ｗｔ％～約５０ｗｔ％の少なくとも１種の溶媒、
（ｄ）０～約１ｗｔ％の少なくとも１種の界面活性剤、及び
（ｅ）少なくとも１種のアルカリ化合物、
を混合することによって調製され、調節されたｐＨが約４～約１０である、カーペット清浄化組成物。

【請求項１２】　前記アクリル酸コポリマーの酸価が約１０～約４５０である、請求項１１に記載の組成物。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３９】
本発明の組成物は、清浄化組成物として有益である。特に本発明の組成物は、例えば付着性残留物を残さないことによって、カーペット及びラグを清浄化するのに有益である。本発明の態様としては下記の態様を挙げることができる：
（１）（ａ）約５０ｗｔ％～約９８ｗｔ％の水、
（ｂ）約０．０５ｗｔ％～約２ｗｔ％の少なくとも１種の酸性コポリマー乳化剤、
（ｃ）約１ｗｔ％～約５０ｗｔ％の少なくとも１種の溶媒、及び
（ｄ）０～約１ｗｔ％の少なくとも１種の界面活性剤、
を含有し、ｐＨが約４～約１０に調節されている、カーペット清浄化組成物。
（２）上記酸性コポリマー乳化剤の酸価が約１０～約４５０である、第（１）項に記載の組成物。
（３）上記少なくとも１種の酸性コポリマー乳化剤が、０．１～１ｗｔ％の量で使用されている、第（１）項に記載の組成物。
（４）上記酸性コポリマー乳化剤が、アクリル酸、メタクリル酸、エタクリン酸、α－クロロアクリル酸、α－シアノアクリル酸、マレイン酸、イタコン酸、フマル酸、これらの酸の無水物、これらの酸の塩、及びこれらの混合物からなる群より選択される少なくとも１種のモノマーから調製される、第（１）項に記載の組成物。

（５）上記酸性コポリマー乳化剤がアクリル酸コポリマーである、第（１）項に記載の組成物。
（６）上記酸性コポリマー乳化剤が、$C_{10}$～$C_{30}$のアルキルアクリレートとオレフィン状不飽和カルボン酸モノマーとのコポリマーである、第（１）項に記載の組成物。
（７）上記少なくとも１種の界面活性剤が約０．０１ｗｔ％～約０．５ｗｔ％の量で使用されている、第（１）項に記載の組成物。
（８）上記少なくとも１種の界面活性剤が、アニオン性、非イオン性、両性及び双性界面活性剤、並びにそれらの混合物からなる群より選択される、第（１）項に記載の組成物。
（９）上記少なくとも１種の界面活性剤が、アルコールアルコキシレート、ジアルキルスルホスクシネート及びそれらの混合物からなる群より選択される、第（８）項に記載の組成物。
（１０）上記少なくとも１種の界面活性剤がジアルキルスルホスクシネートである、第（９）項に記載の組成物。
（１１）アルカリ土類金属の水酸化物を使用してｐＨが調節されている、第（１）項に記載の組成物。
（１２）アルカリ土類金属の炭酸塩を使用してｐＨが調節されている、第（１）項に記載の組成物。
（１３）アミン、アンモニウム及びそれらの混合物からなる群より選択される化合物を使用してｐＨが調節されている、第（１）項に記載の組成物。
（１４）水酸化アンモニウムを使用してｐＨが調節されている、第（１３）項に記載の組成物。
（１５）上記界面活性剤がナトリウムジオクチルスルホスクシネートである、第（１４）項に記載の組成物。
（１６）共溶媒、染料、香料、抗菌剤、漂白剤、洗浄剤、防腐剤、粘性制御剤、緩衝剤、静電気防止剤、柔軟剤、防虫剤、虫除け剤、酵素、汚れ懸濁剤、増粘剤、及びこれらの混合物からなる群より選択される化合物を更に含有する、第（１）項に記載の組成物。
（１７）上記溶媒が水に不溶性である、第（１）項に記載の組成物。
（１８）４０ＣＦＲ５９．２０３によって測定したときに、上記溶媒が揮発性である、第（１）項に記載の組成物。
（１９）上記溶媒が、テルペンに基づく炭化水素、水に不溶性のエステル、イソパラフィン炭化水素、ナフテン炭化水素、水に不溶性のアルコール、水に不溶性のケトン、水に不溶性のエーテル、アルキル化シロキサン、及びそれらの混合物からなる群より選択される、第（１）項に記載の組成物。
（２０）上記溶媒がイソパラフィン炭化水素である、第（１９）項に記載の組成物。
（２１）上記組成物が、約３ｗｔ％～約２０ｗｔ％のイソパラフィン炭化水素を含有する、第（２０）項に記載の組成物。
（２２）（ａ）約５０ｗｔ％～約９８ｗｔ％の水、
（ｂ）約０．０５ｗｔ％～約２ｗｔ％の少なくとも１種のアクリル酸コポリマー乳化剤、
（ｃ）約１ｗｔ％～約５０ｗｔ％の少なくとも１種の溶媒、
（ｄ）０～約１ｗｔ％の少なくとも１種の界面活性剤、及び
（ｅ）少なくとも１種のアルカリ化合物、
を混合することによって調製され、調節されたｐＨが約４～約１０である、カーペット清浄化組成物。
（２３）上記アクリル酸コポリマーの酸価が約１０～約４５０である、第（２２）項に記載の方法。